

令和6年度後期 武蔵野市寄付講座

市の寄付によって、大学が開設する特設講座です。後期は、成蹊大学・東京女子大学・武蔵野大学の3大学で開講します。各大学の講座内容や日程などご確認のうえ、お申込みください。

成蹊大学

「ローカルな場で考える持続可能性」

コーディネーター：小田 宏信（経済学部教授）

日時：令和6年9月20日～令和7年1月17日金曜（全14回）午後3時～4時40分

東京女子大学「公共社会学」

コーディネーター：流王 貴義（現代教養学部准教授）

日時：令和6年9月25日～令和7年1月15日水曜（全15回）午前10時55分～午後0時25分

武蔵野大学

「薬とは？ 2024」

コーディネーター：廣谷 功（薬学部教授）

日時：令和6年9月20日～令和7年1月24日金曜（全14回）午後3時～4時40分

✓ お申込みにあたり、下記をご確認ください。

- ・講師・日程・テーマ等が変更になる場合があります。ご了承の上お申し込みください。また、講座の詳細は、自由大学通信 Vol.83、武蔵野地域自由大学ホームページ、武蔵野プレイスホームページでもご覧いただけます。
- ・武蔵野地域自由大学ポイント付与対象講座です。4分の3以上の出席（受講）で、1ポイントが付与されます。
- ・受講決定後にご提出いただく書類等があります。詳細は郵送でもご案内いたしますが、提出期間や提出物の詳細がちらしの3ページに記載してありますので、あらかじめご確認のうえお申込みください。

▶ 募集要項

- 対象：18歳以上で武蔵野市内在住・在勤・在学の方および武蔵野地域自由大学学生
- 定員：各大学50名（超えた場合は抽選）
- 費用：各大学5,000円（資料代）
- 申込方法：以下の①～④のいずれかの方法でお申込ください（自由大学学生以外の方は①～③）。

- ①ハガキに[希望大学名、住所、氏名（フリガナ）、電話番号、生年月日、武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名、自由大学学生は学籍番号]を明記のうえ、自由大学事務局「寄付講座」係へ郵送
- ②直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口にて申込み
- ③「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」より申込み
（URL：<https://yoyaku.musashino.or.jp/mnet/web/index.jsp?MODE=2>）
※武蔵野市在勤・在学の方は勤務先・学校名を備考欄に明記。
※インターネットでお申込の場合、当選の場合のみ、結果通知を郵送しています。
各自申込サイトでご確認ください。
- ④自由大学学生の方は、自由大学事務局へ電話で申込み（0422-30-1904）



申込はこちら

●申込期間：7月29日（月）～8月12日（月・振休）必着

●抽選結果公開：8月20日（火）～各大学初日

お申込時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。



成蹊大学「ローカルな場で考える持続可能性」

コーディネーター：小田 宏信（経済学部教授）

日時：令和6年9月20日～令和7年1月17日

金曜日（全14回） 午後3時～4時40分

内容：今日、気候変動問題やエネルギー問題、地政学的問題をはじめ地球規模での「持続不可能な問題」が忍び寄っています。日本の国土、また日々暮らしている地域の中でも社会の持続性に疑問を投げかける様々な問題が生起しています。この講座では、あえて「直接観察できて行動できる」ローカルな場から、持続不可能な現実と持続可能な将来のための実践を学びます。地元武蔵野でご活躍の方、成蹊にゆかりのある方を含む、ゲスト講師の皆様方から、国内・海外のさまざまな「ローカルな場」での経験をご披露いただくことを中心に本講座を進行させます。

なお、成蹊学園は1924年に池袋より吉祥寺に移転して100年になります。新教育運動を率いた学園の一つである成蹊では「直観（直接観察する）教育」に大きなウエイトを置いてきました。その理念は、今日のESD（持続可能な開発のため教育）やGCED（グローバルシチズンシップ教育）と重なり合う部分があります。この講座は、こうした点を踏まえて企画されたものです。

回	月日	テーマ	講師
1	9/20	成蹊学園の吉祥寺移転100年と本講座の趣旨	小田 宏信（経済学部教授）
2	9/27	SDGsとESD：その展開	鈴木 克徳（ESD-J代表理事）
3	10/4	吉祥寺の360年と成蹊学園	高橋 珠州彦（明星大学教育学部准教授）
4	10/11	成蹊気象観測所の100年	三上 岳彦（東京都立大学名誉教授、成蹊気象観測所所長）
5	10/25	環境報道の現場から考える持続可能性	堅達 京子（NHKエンタープライズエグゼクティブプロデューサー、JFEJ日本環境ジャーナリストの会副会長）
6	11/1	地域環境問題の現場から考える持続可能性	渡邊 知行（経済学部教授）
7	11/8	原子力災害の現場から考える持続可能性	山川 充夫（福島大学名誉教授）
8	11/15	フィリピンの都市と農村から考える持続可能性	貝沼 恵美（立正大学地球環境学部教授）
9	11/29	南信州・売木村発、持続可能な地域づくり	赤土 かよ（一般社団法人木の芽代表理事）
10	12/6	気仙沼発、持続可能な地域づくり	菅原 昭彦（気仙沼商工会議所会頭）
11	12/13	サステナビリティを実現するコミュニティの多様性	山中 敦志（MeetむさしのCo Founder）
12	12/20	ソーシャルビジネスが紡ぐローカルコミュニティ	舟木 公一郎（一般社団法人フラットデザイン代表理事）
13	1/10	フェアトレードを通じたサステナブルなまちづくり	坂口 和隆（くらしにツナガルHātWork共同代表）
14	1/17	ローカルから世界へ、ローカルから未来へ	小田 宏信（経済学部教授）

東京女子大学「公共社会学」

コーディネーター：流王 貴義（現代教養学部准教授）

日時：令和6年9月25日～令和7年1月15日

水曜日（全15回） 午前10時55分～午後0時25分

内容：私たちと社会とは様々な関係を取り結んでいます。社会保障制度を媒介とした関係は、国家の設定した枠組みの下で取り結ばれるという点で特徴的なものです。この社会保障制度ですが、私たちの生活を支える重要な役割を果たしていると同時に、現代社会においては日本に限らず、社会保障制度に大きな見直しが迫られているのも事実です。改革の方向性については様々な主張が提示されているにもかかわらず、なぜ社会保障制度の見直しは困難なのか。本講義では社会保障制度について、それを支える歴史的・社会的基盤と関係づけながら検討を加え、社会保障制度の現状を社会的に考察するための基礎を提供します。

回	月日	テーマ	講師
1	9/25	イントロダクション	流王 貴義（現代教養学部准教授）
2	10/2	不信と自助の社会	
3	10/9	分断型の財政	
4	10/16	対立の構造	
5	10/23	公平感と格差	
6	10/30	租税とデモクラシー	
7	11/6	日本の福祉政治	
8	11/13	福祉と雇用	
9	11/20	福祉政治の捉え方	
10	11/27	1960年代・70年代の福祉政治	
11	12/4	1980年代の福祉政治	
12	12/11	1990年代後半以降の福祉政治	
13	12/18	現代日本の福祉政治	
14	1/8	シティズンシップの現在	
15	1/15	まとめ	

当選が決定した方の提出物 …受講が決定された方には、提出方法など、詳細を郵送でご案内いたします。

そちらをご確認のうえ、下記期間中に武蔵野プレイス3階自由大学事務局へお持ちください。

・資料代…各大学5,000円（必要書類提出時に、武蔵野プレイス3階自由大学事務局でお支払いいただきます。）

・受講同意書…抽選結果通知に用紙を同封します。

・健康診断書…1大学につき1部（コピー可）、自治体で行われる健康診断でも結構です。

必須内容：①受診者氏名、②受診日（令和5年8月1日以降のもの）、

③胸部レントゲン検査結果（レントゲンフィルム不要）、④医師の総合所見、⑤担当医師名

・証明写真…1大学につき1枚（受講証用。ただし、成蹊大学は不要。スナップ写真不可。武蔵野大学は白黒写真不可。サイズ等詳細は当選のご案内でご確認ください。）

※健康診断書（結果票）は、受診してから結果がお手元に届くまである程度日数を要します。上記受診日以降の健康診断書がお手元に無い方は、お早目に受診いただきご準備ください。また、証明写真・健康診断書等、受講手続きに要する費用は、受講者の負担となります。

※提出期間：8月20日（火）～9月1日（日）

武蔵野大学「薬とは？ 2024」

コーディネーター：廣谷 功（薬学部教授）

日時：令和6年9月20日～令和7年1月24日
金曜日（全14回） 午後3時～4時40分

内容：少子高齢化、デジタル化などの社会的な変化が急激に進んでいます。また、地球温暖化による気候変動は自然災害の頻度を高めるばかりでなく、新たな感染症の発生にも繋がっており、求められる薬学へのニーズも多様化しています。薬学部では、最新医療に対応する能力に加えて、人々の健康な環境を確保し、予期されぬ問題にも活路を開ける人材の育成を目指しています。令和6年度の武蔵野市寄付講座は、様々な領域の専門家の視点から薬に関わる解説を行い、薬を多方面から理解できるような知識を習得することや、薬剤師教育や薬剤師の現在から今後への展望についてなど、社会的な関心やニーズが高い最新の話題を厳選し、「薬とは？ 2024」として開講します。受講生の皆さまの参考になることを期待しています。

回	月日	テーマ	講師
1	9/20	開講式 生薬・漢方薬：自然と伝統からの贈り物	西本 照真（学長、教授） 市瀬 浩志（薬学部長、教授）
2	9/27	日本の医療における漢方薬の役割	加瀬 義夫（薬学キャリア教育研究センター長、教授）
3	10/4	認知症の原因・治療・予防	阿部 和穂（薬学部教授）
4	10/18	希少疾患と感染症	大畑 慎也（薬学部准教授） 石井 雅樹（薬学部講師）
5	10/25	蚊やダニに刺されると感染する国内外の危険な感染症とワクチン開発	伊従 光洋（薬学部教授）
6	11/1	がん治療の最前線	熊野 恵城（薬学部教授）
7	11/8	薬物送達の前線	濱 進（薬学部講師）
8	11/22	薬の飲み合わせ	工藤 敏之（薬学部講師）
9	11/29	保健機能食品	室井 正志（薬学部教授）
10	12/6	認知症および肺疾患予防サプリメントの開発	川原 正博（薬学部教授） 田中 健一郎（薬学部准教授）
11	12/13	臨床薬学研究の前線	堀井 剛史（薬学部臨床薬学センター講師）
12	12/20	医療オープンデータから読み解く疾病因子や生活習慣	永倉 透記（薬学キャリア教育研究センター教授）
13	1/10	地域と共に生きる薬剤師の役割	宮川 昌和（薬学部臨床薬学センター講師）
14	1/24	これからの薬剤師教育－多職種連携教育－ 閉講式	西本 照真（学長、教授） 三原 潔（薬学部臨床薬学センター長、教授）

